

## Letter to the Editor

### To the Editor

貴誌の2023年（第35巻）2月号，特集「上部消化管内視鏡のトラブルシューティング」を拝読させていただきました。その際，170ページに掲載されております「嗚咽が著明でおさまらない」という項目について疑問点がありご連絡をいたしました。

タイトルにもあります，「嗚咽」という言葉については一般的にはむせび泣く様子を表す言葉で嘔吐反射としての意味はないと考えておりました。本文中サブタイトルには嗚咽（嘔吐反射）とありましたが，やはり違和感を感じました。日常診療の場では同様の誤用はしばしばみられますが修正されていることが多いように感じます。誤用も一般的になれば新たな意味をもつこともあるかとは存じますが，貴社がどのようにお考えかをご質問させていただく次第です。御多忙のところ大変に恐縮ですが，ご教示いただけましたら幸いに存じます。

獨協医科大学医学部内科学（消化器）講座  
久野木康仁

### Reply from the Editor

このたびは，『消化器内視鏡』掲載論文に貴重なご意見，ご指摘をいただき，誠に有難うございます。編集委員会における検討の結果，ご指摘通り「嗚咽」という用語は誤用と判断せざるを得ないとの結論に至りました。なお，本用語の使用については，タイトルとして本誌より著者にご依頼申し上げたものであり，一切の責任は編集委員会が負うべきものと考えております。

トラブルシューティングが必要な状況として「嗚咽を思わせるような絶え間なく連続する嘔吐反射」に該当すると思われませんが，誤って短縮・慣用化し，気づかずに使用してしまったものと反省しております。的確なご指摘をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後とも本誌のさらなる充実のため，お力添えいただければ幸いです。

『消化器内視鏡』編集委員会  
編集委員長 岩男 泰  
株式会社東京医学社  
取締役社長 蒲原一夫